

東海道第百六宿

東海道五十三次

亀山かめやま

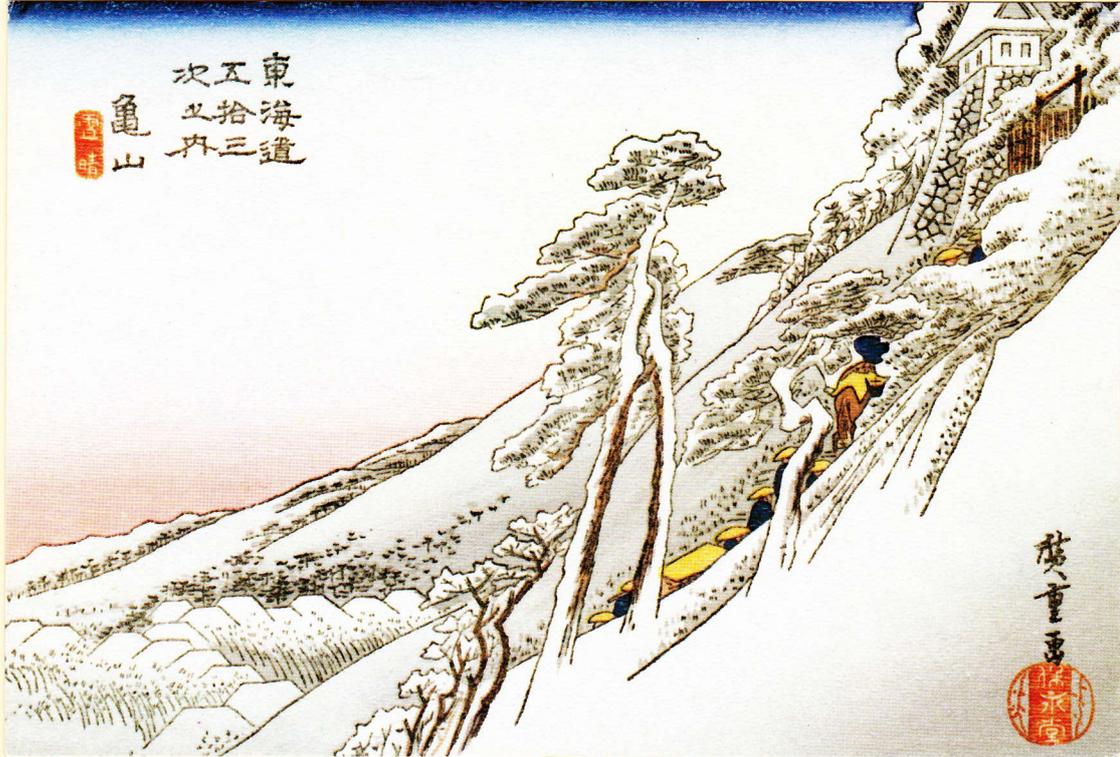
亀山は起伏に富んだ坂の多い町である。丘陵の上に立つ亀山城は「粉蝶城」と呼ばれた美しい城であった。この地で有名なのは三十九年もの歳月をかけた石井兄弟の仇討ちと、日本一のシニアを誇るカメヤマフロンクである。亀山城は杏吉の時代に岡本良勝がこの地の自然地形を利用して築いた城である。寛永期の



白壁が蝶の舞う姿のように見えることから「粉蝶城」という風雅な名で呼ばれた。亀山といえどカメヤマフロンクではなく、カメヤマフロンク(昭和元年創業)。フロンク(石井の

副産物)を原料とする「洋フロンク」に切り替えた。社員は千人以上国内生産七十五パーセント。倫理用フロンク約四十五パーセント。見るだけでも面白。

JR関西本線「亀山駅」



東海道  
五十三次  
亀山



名物さし櫛 遠分蕎麦 三本松焼餅

見どころ

野村三郎塚 京口門跡の約一キロ先土塁の上に覆いのある立派なもの。

武家屋敷跡

かつての城下に連なっていた武家屋敷の門が修復されて残っている。